

1 活動の概要

「見る」「聞く」「触る」「嗅ぐ」などの感覚を使い自然を楽しむ。四季折々に自然と人が触れ合いながら、さまざまな発見を通して自然や環境への理解を深める。

2 ねらい

- (1) さまざまな感覚で自然を感じ、心と体で自然を直接体験する。
- (2) 自然へ様々な感覚をとぎすまし、観察力を高める。
- (3) 自然への気づきを深め、自然や他者に対する思いやりを深める。

3 活動場所

陸中海岸青少年の家
 アニマルハンティングコース
 営火場周辺



4 所要時間 1～3時間

5 準備・服装

個人・団体	長袖・長ズボン、帽子、救急用具、懐中電灯、虫よけスプレー等
青少年の家	熊鈴、トランシーバー 《自然遊び》 木の実や葉っぱを入れる袋、宝箱（新聞紙） 《ネイチャーゲーム》 生き物カード 動物あてゲームヒントカード 宝さがしカード カモフラージュセット ロープ バンダナ 洗濯ばさみ など内容に応じた準備物

6 自然遊びの進め方

- (1) 木の実や葉っぱを集めよう
 - ・ 森の中を歩いて、木の実や葉を拾う。
- (2) 形や色ごとに分けよう
 - ・ 木の実や葉っぱの形や色に着目し、色や形の特徴をつかむ。
- (3) 木の実や葉っぱで遊ぼう
 - ・ 木の実を並べてお気に入りの宝箱を作る。
 - ・ 葉っぱをこすって音を出したり、集めて飛ばしたり体を埋めたりなどして遊ぶ。

7 ネイチャーゲームの進め方 ※詳細は別冊参照

下の4つの段階から、団体のねらいに合わせてゲームを組み合わせる。

- (1) 第1段階「熱意をよびおこすアクティビティ」遊び要素にあふれた活発なもの
 - ・ノーズ・私は誰でしょう ・動物交差点 ・コウモリとガ ・木の葉のカルタとり など
- (2) 第2段階「感覚をとぎすますアクティビティ」五感を使い感受性を高め注意を集中するもの
 - ・フィールドパターン・フィールドビンゴ・宝さがし・森の色合わせ・カモフラージュ
 - ・いねむりおじさん ・音いくつ ・風いくつ ・森の美術館 など
- (3) 第3段階「自然を直接体験するアクティビティ」自然との一体感を感じるもの
 - ・目かくし歩き ・カメラゲーム ・サウンドマップ・わたしの木など
- (4) 第4段階「インスピレーションをわかちあう」自然からの感動をわかちあうもの
 - ・サイレントウォーク ・明日への手紙 など

8 留意事項

- (1) 活動する対象者や活動時間に応じて柔軟に内容を構成する。
- (2) 森の中の坂道や階段、植物の枝葉など、安全面に留意する。